

# EA155 HV(1")エアインパクトレンチ取扱説明書

Ver.1.1

このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

## ■仕様

- ・使用圧力…0.6MPa
- ・最大トルク…2000N・m
- ・全長…485mm
- ・差込角…1"
- ・最大回転数…3900rpm
- ・重量…7.4kg
- ・能力(ボルト径)…38ミリ
- ・使用コンプレッサー…3.7kw
- ・騒音値…99.95dB(A) ISO 15744
- ・吸入口…Rc3/8"
- ・シャンク長さ…150mm
- ・三軸合成値…6.24m/s<sup>2</sup> ISO28927-2
- ・エア消費量…566ℓ/min
- ・使用エアホース内径…10mm
- ・付属品…ハンドル、キャップネジ×2本、キーレンチ

## ■各部名称



### ● ハンドルの取り付け

ボディの両側にハンドル用ネジ穴があります。  
ドリルを保持しやすい側に取り付けて下さい。  
(ハンドル、キャップネジ2本、キーレンチ付属)  
作業中に抜けないようしっかりとネジを締めてください。

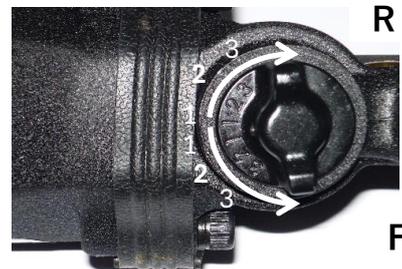


### ● 使用方法

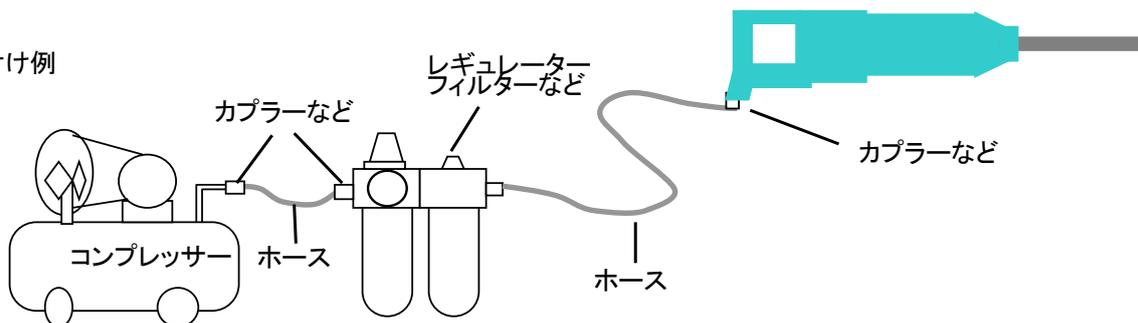
インパクトソケットを装着する時はピンやOリングなどで確実に固定してください。  
エアツールのON/OFFはグリップ部のトリガー(スイッチ)によって行います。  
スイッチを引いている間は、ツールが作動します。停止はスイッチを離してから  
数秒かかります。安全のためにツールが完全に停止した後で収納場所に置いてください。

### ● 正逆転切替ダイヤル(流量調整)

- ・作業をする前に正逆転切替スイッチの“F”と“R”をチェックしてください。
- ・“F”方向に押すと正回転(時計方向)し、“R”方向に押すと逆回転(反時計方向)します。
- ・“1”はそのツールの最小流量になり、“3”は最大になり、よってトルクも最大になります。



### ● 取り付け例



● **メンテナンス**

- ・工具を接続する前にISO VG10くらいのスピンドルオイルを接続口から4～5滴たらししてください。
- ・粘度の高いオイルを差しますと、機能が十分発揮されなくなります。  
もし、誤って粘度の高いオイルを差した時は、洗い流して適正オイルを差してください。
- ・3～4時間の作業ごとにオイルを差すと、工具が長持ちします。

● **保管**

- ・使用後は水分や汚れを拭き取り乾燥させて、オイルをさしてください。
- ・使用しないときはコンプレッサーホースから工具を外してください。
- ・保管に際しては湿気のある所は避けてください。湿気があると工具内部にサビが発生します。

**△ 安全上の注意**

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。  
説明された用途以外の使用は厳禁です。

- ・作業をする前にインパクトソケットなどが確実に差込角に装着している事を確認してください。
- ・トルクが大きい為、スイッチを入れる前にボルトにはめてください。
- ・適正な圧力と適正な使用スピードが最良の作業効率をもたらします。  
コンプレッサーの適性ゲージ圧力は0.6MPaです。使用範囲は0.5MPa～0.7MPa（70～100psi）です。
- ・エアーツールとコンプレッサーの間のホースは内径10mmをご使用ください。  
エアーツールとコンプレッサーの間にはフィルターとオイルを設置してください。
- ・使用前にホースをコンプレッサーの圧縮空気で掃除しますと、湿気とホコリが除去できます。  
ホースを延長して使用するほど（7.5m以上）、ラインの圧力も相応してあげなければなりません。
- ・使用に際しては良好な状態でソケットやアダプターを使用してください。
- ・作業時は必ず保護メガネ、イヤーマフ、防塵マスク、手袋を着用してください。
- ・作業現場は必ず換気をよくしてください。
- ・動力源が故障した場合はエアーツールをはずしてください。
- ・絶縁されていない為、電源に接触しないように注意して作業してください。
- ・爆発性雰囲気のある環境下では、エアーツールは使用しないでください。
- ・また圧力のかかったホースには注意してください。
- ・作業対象物は必ず適正な工具に固定してください。
- ・過度のエア圧力をツールにかけたり、速いスピードでの空回しは工具の損傷の原因になります。
- ・作業場の照明は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあったエアーツールを使用してください。  
工具の能力と作業にあった速度、トルクを選んでください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。  
だぶついた作業服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具類は、回転部に巻き込まれます。  
長い髪も危険ですので帽子をかぶるようにしてください。  
手袋を使用するときは、巻き込まれないような品で、すべらない手袋を着用してください。
- ・加工物をしっかりと固定し、両手で工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。  
エアーツール、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。  
握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエアーツールを外してください。  
① 工具の取り付け、交換 ② 作業終了時 ③ 異常を感じたとき
- ・エアーツールを運ぶときは、エアーツールを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エアーツールを使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないかを確認してください。
- ・改造はしないでください。本機の寿命を著しく損ねる場合があります。また、ご使用者がケガをする場合、作業行程に支障を来す場合があります。
- ・振動工具の三軸合成値について  
仕様欄に数値を記載しています。  
日振動ばく露量A（8）は、厚生労働省の下記サイトで求めることができます。  
<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/090820-2a.pdf>